

国営環境保全型かんがい排水事業 写真集

釧路開発建設部 農業開発課 令和7年3月更新

ようすいしせつ ようすいろ ○用水施設(用水路)

用水管の漏水状況



地域の用水は、肥培かんがい用水として利用される他、生活用水や家畜用水として利用され、地域の重要なライフラインとなります。

このため、老朽化した石綿セメント管の更新を行い、安定した用水供給を行うための整備を進めています。



用水路の整備

※肥培かんがいシステムの導入

タンカーへ積込



肥培かんがいシステムは、家畜ふん尿に水と空気を混入し、良質な有機質肥料(スラリー)に調整及び貯留し、農地への肥培管理を行うシステムです。

肥培管理(スラリーの散布)



ほ場ピットの設置



ほ場ピットとは
散布ほ場までのタンカー
移送経路が長い場合、移
送管路とほ場ピットを整
備し、効率的な肥培管理
を実践します。

ようすい し せつ ひばい し せつ
○用水施設(肥培かんがい施設)



整備前

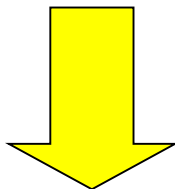
【老朽化したスラリーストアー】



整備前

【容量不足の堆肥盤】

※老朽化施設の解消
※容量不足の解消



肥培かんがい施設を整備することで、既存施設の老朽化や容量不足を解消します。

整備後

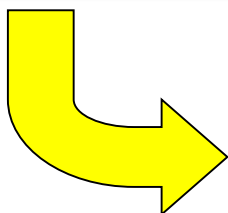


良質なスラリーを効率的に農地に還元することにより、牧草の収量増加、品質向上、購入肥料の削減など経営コストが節減されます。

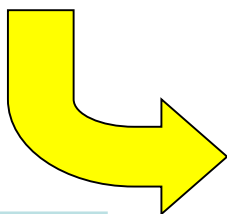
ようすい し せつ ひばい し せつ
○用水施設(肥培かんがい施設)



肥培かんがい施設を整備することで、畜舎周辺の環境が改善されます。



※畜舎周辺環境の改善



※畜舎周辺環境の改善

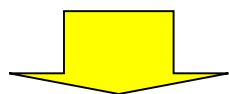


じょうか がた はいすいろ はいすいろ
○浄化型排水路(排水路)



整備前

農地を流れる排水路が未整備であったり、規模が小さいことから、大雨時には周辺農地に排水があふれ、牧草等への被害や、効率的な農作業が行えないなど、営農上の課題が発生していました。



整備後

排水路を整備することで、大雨時の作物被害が少なくなり、降雨後の農地の地下水も早く低下し、通気性等が改善され牧草等の収量が増加します。

排水路の改修による
排水被害の軽減



整備後

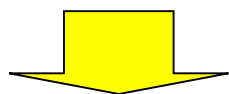
じょう か がた はい すい ろ はい すい ちようせい ち
○浄化型排水路(排水調整池)



整備前

排水調整池は、排水路の上流側に設置する幅広水路状の沈砂池です。

本施設に流入する土砂を沈降させ、下流排水路の機能保全を図るとともに、水質汚濁物質を抑制する施設です。



下流排水路への
土砂及び水質汚濁物質の抑制



整備後

○浄化型排水路(遊水池)

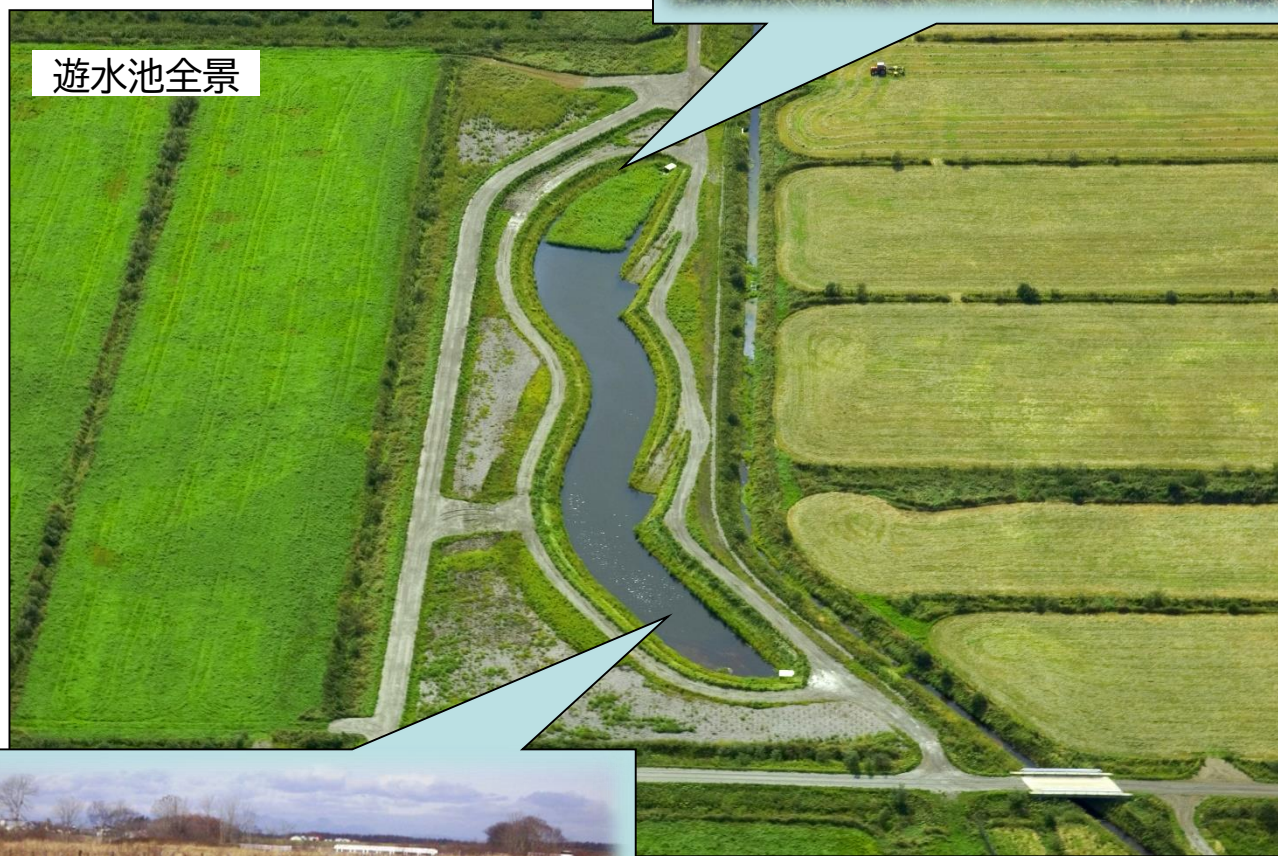
遊水池は、排水路の下流側に設置する幅広水路状の沈砂池です。

排水路に流入した土砂を沈降させる堆砂域と、水生植物による窒素・リン等の水質汚濁物質の吸収を行う植生域で構成されており、下流河川への土砂や水質汚濁物質の流入を抑制する施設です。

植生域



遊水池全景



新たな水辺空間ができたことにより、水鳥などの生息域が拡大しています。

河川流域への
土砂及び水質汚濁物質の抑制

沈砂域



じょうか がたはいすいろ どしゃ しりん
○浄化型排水路(土砂かん止林)

整備後(H15年撮影、植栽1年目)



土砂かん止林は、排水路の両岸に植樹することで、法崩れや土砂流入等を抑制し、排水路の機能保全と、農用地等から流出する水質汚濁物質を吸収し、水路の水質浄化を行います。

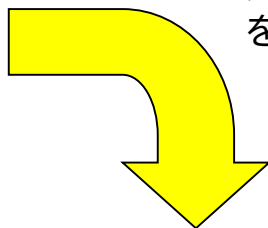


整備後(H20年撮影、植栽6年目)



土砂かん止林の生育

樹種は、地域に自生しているドロノキ、アカエゾマツ、ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ等を選定しています。



整備後(R4年撮影、植栽20年目)



じょうか がたはいすいろ すい しつ かい ぜん
○浄化型排水路(水質改善)



※河川水質の改善

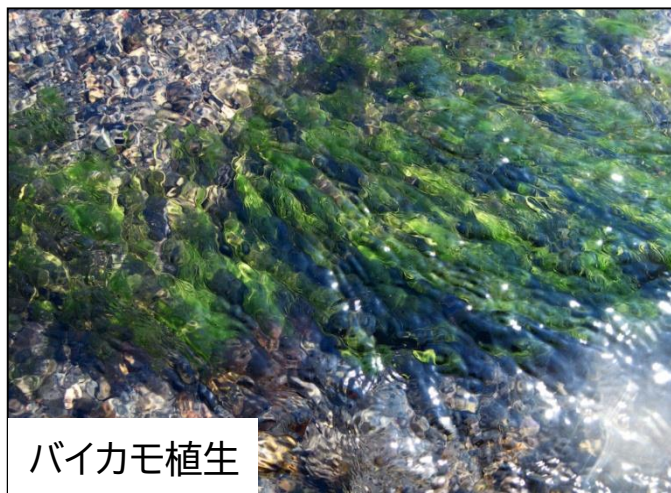
●河川水質の改善で鮭の遡上やバイカモの植生が見られる様になった。



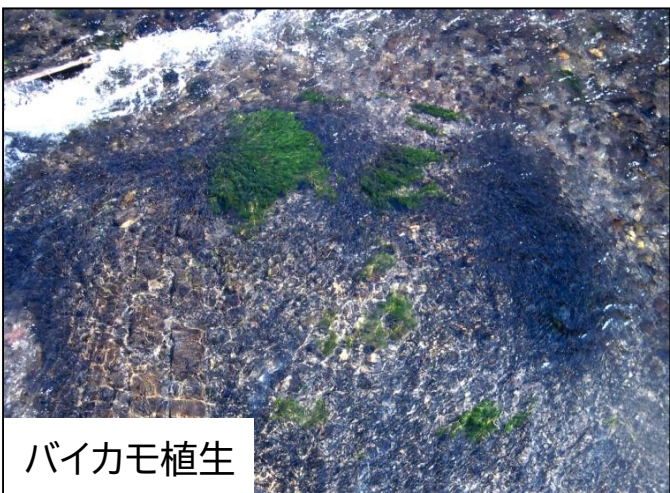
鮭の遡上



鮭の遡上



バイカモ植生



バイカモ植生